



# 北海道

## 防衛HOKKAIDO

編集・発行  
防衛省北海道防衛局 広報委員会

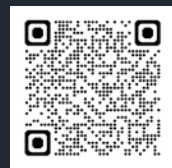
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎  
TEL 011-272-7579  
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



第12施設群（岩見沢駐屯地）  
が保有する92式地雷原処理車

「絆（きずな）」岩見沢駐屯地と岩見沢市の紹介、補助事業・	P2～4
沖縄の基地問題を考える議員の会	P4
防衛省所管補助事業等実務担当者研修会	P5
防衛大臣来道 北海道基地協議会総会	P6
防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について（第6回）	P7
新規採用者入省式	P8
幹部紹介 ～4月人事異動～	P9
職員採用情報 自衛官等採用案内	P10

北海道防衛局  
ホームページ



北海道防衛局  
公式X



2026

6

vol.98



「絆 (きずな)」

岩見沢駐屯地

## 陸上自衛隊 岩見沢駐屯地の紹介

岩見沢駐屯地は、昭和28年2月に第532施設大隊が金沢駐屯地から移駐し、岩見沢市日の出台に開庁されました。その後、数度の部隊新編や機能別改編を経て、現在は第12施設群を基幹とした8個部隊が駐屯しています。

駐屯地は、「地域とともに」をモットーに、災害協力や地域行事などの参加を通じて、地域社会との強い絆を築いています。



駐屯地の本部隊舎



駐屯地記念行事の様子

## 岩見沢市との関係性

岩見沢市は、自然環境に恵まれた空知地方における行政・産業・経済の中心都市ですが、日本有数の豪雪地帯でもあり、国から特別豪雪地帯の指定を受けています。

駐屯地は、平素から情報の共有化を進めており、大雨・大雪の災害発生時には適切かつ迅速な対応が評価されております。また、地域との関わりを重視した積極的な協力を実施し、地域との連携強化を図っています。

水防訓練 釜段工の作成



まめフェスの様子



「クリーン・グリーン作戦」



岩見沢市に所在する岩見沢駐屯地は、地域の皆様に支えられながら今年創設73周年を迎えました。

駐屯地司令として「地域への貢献」、「ともに環境を創る」の二点を要望しています。地域との連携を深め、協力して働きやすい環境づくりを進めることで、いかなる事態や変化に対しても、国民や地域の皆様の負託に応え続けるため、部隊の知恵と力を結集してまいります。



第12施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令 1等陸佐

福永 信彦



# 「絆 (きずな)」

# 岩見沢市

「人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市」 岩見沢市

宝水ワイナリー



岩見沢市は空知地方の中心都市として、古くから交通の要衝として発展を遂げてきました。広大な石狩平野の一角に位置し、豊かな自然環境に恵まれた道内有数の米どころであるとともに、白菜や玉ねぎをはじめとする農産物の生産も盛んです。

近年では、個性豊かなワイナリーが集積し、ワインの産地としても高い注目を集めるなど、魅力あふれるまちとして成長を続けています。

## 岩見沢市と防衛省・自衛隊との関わり

市内には、施設科部隊を中心とした陸上自衛隊岩見沢駐屯地が所在しています。自衛隊の皆様には、国防という任務の中、市民の安全・安心な生活を支えていただいております。毎年、防災訓練へのご参加に加え、「いわみざわ百餅祭り」や「IWAMIZAWAドカ雪まつり」といった地域イベントにおいても広くご協力をいただき、地域にとって身近で心強い存在となっております。

また、過去には、豪雪地帯である本市への災害派遣をいただいたこともあります。社会環境が大きく変化する今日において、平時・有事を問わず地域を支える自衛隊の存在感は、私たちが日々の暮らしを営む上での安心感を高めるものでございます。

長年にわたり築いてきた信頼関係をこれからも大切に、本市としても、隊員の皆様が日々安心して任務に邁進できるよう協働のまちづくりを進めてまいります。



自衛隊の支援  
いわみざわ百餅祭り



IWAMIZAWAドカ雪まつり



防災訓練の様子

自衛隊の皆様には、国防や災害派遣など国民の安全を守る活動に加え、本市の各種事業に多大なるお力添えをいただいておりますことに心より感謝申し上げます。今後とも皆様との強い「絆」を大切に、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。



岩見沢市長 松野 哲



# 「絆 (きずな)」 補助事業

## 岩見沢駐屯地等周辺 除雪施設 設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

この除雪トラックは、自衛隊の事故等が発生した場合における住民の避難又は消防活動の円滑化を図るための施設として整備しました。



### 【補助事業の概要】

補助事業の内容：除雪トラック 1台  
事業年度：令和7年度  
補助対象事業費：62,700千円  
補助額：47,025千円  
(補助率7.5/10)

### (岩見沢市 担当者様のコメント)

岩見沢市は道内屈指の豪雪地帯であり、市民生活や経済活動を維持するため、冬期間の迅速かつ確実な除雪作業が欠かせません。一方で、広大な市内をカバーする除雪体制の維持や、老朽化する車両の計画的な更新には多大な費用を要することが課題でありましたが、令和7年度に防衛省の補助事業を活用させていただき、市が保有する除雪トラック1台を無事に更新することができました。本車両の更新により、これまで以上に効率的で安定した除雪体制を維持することができ、冬期間の安全・安心な交通の確保に大きく寄与しております。当市の厳しい冬を支える貴重なご支援を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。



## 沖縄の基地問題を考える議員の会

4月16日、千歳市内にて、沖縄の基地問題を考える議員の会が開催され、防衛省から森田地方協力局長、深和中国四国防衛局長、掛水北海道防衛局長らが参加しました。

本会は、米軍基地等の所在の有無に関わらず、沖縄の基地問題の現状を十分認識したうえで、日本の国防と沖縄県の基地問題について日本全国で考えるため、全国市議会議長会基地協議会の構成員有志により設立されたもので、これまでに沖縄県那覇市、山口県岩国市、沖縄県宜野湾市、石川県小松市で開催、今回が第5回目であり、北海道では初めての開催となりました。

当日は、森田局長が「沖縄の基地問題と移転訓練等の沖縄基地負担軽減の取り組みについて」の説明を行い、参加者が現状や施策に対する理解を深める機会となりました。





## 防衛省所管補助事業等実務担当者研修会

4月15日、千歳市内にて、北海道基地協議会（会長：横田千歳市長）の主催、一般財団法人防衛施設協会の協賛により「令和8年度 防衛省所管補助事業等実務担当者研修会」が開催されました。

この研修会は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」等に基づく各種補助事業等の制度や具体的な事務手続などについて、防衛施設関連自治体の実務担当者の理解を深めることを目的としたものです。

今年度は全道44の自治体等から約210名の実務担当者が参加しました。



はじめに、開催地挨拶として千歳市の横田市長が、「防衛施設の周辺自治体におきましては、防衛施設と住民との生活環境の「調和」と「安定」を図るため、防衛施設の設置・運用により生ずる障害の「解消」や「緩和」に向けた各種施策に取り組み、自衛隊との共存共栄の推進を図らなければならないものと考えております。」と述べました。

続いて当局の金谷企画部長から、「我が国の防衛力と日米安全保障体制を支える基盤である防衛施設が、常に安定し、その機能を発揮できる状態を維持するためには、防衛施設とその周辺地域との調和を図ることが何より重要であると考えております。」と挨拶しました。



その後、全体研修として令和8年度制度改正の概要等や会計検査に関する情報について、当局職員から説明を行い、個別研修では、民生安定及び障害防止・道路の各分科会に分かれ、意見交換などが活発に行われました。





## 防衛大臣来道

5月23日、小泉防衛大臣は大臣就任後初めて北海道内の部隊視察を行い、陸上自衛隊真駒内駐屯地と航空自衛隊千歳基地を視察しました。

陸上自衛隊真駒内駐屯地では、バイアスロン競技・クロスカンリースキー競技の冬季オリンピックメダリストを育成する「自衛隊体育学校冬季特別体育教育室」から概況説明を受け、競技に取り組む選手と、日々の訓練や競技に向けた取り組みについて懇談を行いました。

続いて訪れた航空自衛隊千歳基地では、緊急発進（スクランブル）のデモンストレーションを視察しました。迅速な発進態勢の確保や安全確保の取り組みの説明を受け、パイロットや整備を担当する隊員と懇談を行いました。

また、隊員とそのご家族とも交流され、日頃の家族の支えに対する感謝の意を伝えられるなど、和やかな雰囲気での交流となりました。



選手と懇談する小泉大臣



隊員と懇談する小泉大臣



## 北海道基地協議会総会

5月20日、恵庭市内にて、北海道基地協議会（会長：横田千歳市長）の令和8年度総会が34市町村の出席により開催され、来賓として本省地方協力局から原田地域社会協力総括課長、当局から掛水局長らが参加しました。

総会は、横田会長の議事進行のもと、令和8年度事業計画、予算、要望運動等についてそれぞれ決定され、原田地域社会協力総括課長が基地周辺対策経費について説明を行いました。

総会の終了後、陸上自衛隊北恵庭駐屯地の視察研修が行われ、現地部隊の活動や現状について理解を深めていただきました。





## 防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について (第6回 機動展開能力の強化・国民保護)

我が国の安全保障政策にかかる主要な文書である「国家安全保障戦略」などの「戦略三文書」において、防衛力の抜本的強化にあたり重視する7つの機能・能力が位置付けられています。

今回は、機動展開能力の強化・国民保護について紹介します。

### 機動展開能力の強化

多くの島嶼を有する日本への侵攻を阻止するため、防衛省・自衛隊は「機動展開能力」を強化します。我が国に対して侵攻があった場合は、平素から配備している部隊だけが対処するのではなく、状況に応じて必要な部隊を迅速に機動展開させる必要があるため、共同の部隊として自衛隊海上輸送群を新編するなどして自衛隊の輸送力を強化しつつ、民間輸送力（PFI船舶）の活用や空港・港湾の円滑化、全国の補給処などの改修を積極的に推進しています。



自衛隊海上輸送群の新編行事の状況



輸送艦「にほんばれ」

### 国民保護

国民の命を守りながら我が国への侵攻に対処するにあたっては、国の行政機関、地方公共団体、公共機関、民間事業者が協力・連携して統合的に取り組む必要があります。政府としては、武力攻撃より十分に先立って、南西地域を含む住民の迅速な避難を実施するため、円滑な避難に関する計画の速やかな策定、官民の輸送手段の確保、空港・港湾などの公共インフラの整備と利用調整、様々な種類の避難施設の確保、国際機関との連携などを行うこととしています。また、こうした取組の実効性を高めるため、住民避難などの各種訓練の実施と検証を行ったうえで、国、地方公共団体、指定公共機関などの連携を推進しつつ、制度面を含む必要な施策の検討を行うこととしています。

防衛省・自衛隊としては、これらの施策への参画や協力に加え、自衛隊が使用する民間船舶・航空機や自衛隊の各種輸送アセットを利用した国民保護措置を計画的に行えるよう調整・協力することとしているほか、国民保護にも対応できるように自衛隊の部隊の強化、予備自衛官の活用などの各種施策を推進することとしており、平素から、地方公共団体などとの連携や、国民保護訓練に積極的に参加・協力しています。



# 新規採用者入省式

4月1日、令和8年度の新規採用職員を迎える入省式が執り行われました。

入省式では、少し緊張した様子も見られましたが、掛水局長から辞令を受け、北海道防衛局の職員としての自覚を新たにしていました。

今後は、研修や実務を通じて経験を積み、それぞれの部署で活躍していく予定です。

新たな仲間を迎え、組織としても気持ちを新たにスタートを切る1日となりました。



## 新規採用者等初任研修

4月15日から4月17日までの間、令和8年度北海道防衛局新規採用者等初任研修（採用者14名）を行いました。

研修は、北海道防衛局の業務に関する基礎的な知識付与を目的とした業務概要説明のほか、陸上自衛隊東千歳駐屯地、海上自衛隊余市基地分遣隊、航空自衛隊千歳基地、防衛装備庁千歳試験場にて現地研修を行いました。

各部隊等では、施設や装備品についての説明を受けるなど、実際に勤務する隊員から直接話を伺うことができる貴重な機会となりました。

研修員は、研修の中で疑問に思ったことは質問し理解を深めつつ、研修員同士での交流も行うなど、終始積極的に研修に取り組んでいる様子でした。

北海道防衛局の一員として、今後の活躍が一層期待されます。



陸上自衛隊



海上自衛隊



航空自衛隊



防衛装備庁

現地研修の様子



## 幹部紹介 ～4月人事異動～

4月1日付で企画部長を拝命した金谷（かなたに）です。  
初めての北海道での勤務になりますが、重要な防衛施設が多数所在している北海道で仕事ができることを大変光栄に思っております。

戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している中、安定かつ円滑な防衛施設の運用に対し、引き続き、関係自治体や地域住民の皆様のご理解とご協力が得られるよう、尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



企画部長  
金谷 幸治

4月1日付で管理部長を拝命した出野（いでの）です。  
我々管理部では、自衛隊施設の取得・管理及び在日米軍に係る補償などを主たる業務として行っておりますが、これら業務を円滑に行うためには、関係自治体の皆様や地域住民の方々のご理解ご協力が不可欠です。

皆様方との一層の信頼構築、防衛施設の安定的運用のため、防衛局内外と密に連携を図りながら努力をして参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



管理部長  
出野 健一郎

4月1日付で千歳防衛事務所長を拝命した鈴木です。  
千歳市での勤務は初めてですが、事務所管内に所在する多くの重要防衛施設の安定的運用のため、本局とよく連携して引き続き防衛省自衛隊の活動についてのご理解とご協力が得られるよう努めますとともに、関係自治体及び地域住民の方々との良好な関係が保持されるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



千歳防衛事務所長  
鈴木 織絵

### 在日米軍基地で働く従業員募集のお知らせ

LMO  <https://www.lmo.go.jp>



独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ)では、全国各地の在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

従業員の募集の詳細は、[エルモホームページ](#)をご覧ください。

※「求人情報 本州・九州」の求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用ください。

エルモHP



#### 【エルモ公式X】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ)@LMO\_recruit」



# 職員採用情報

## 地方防衛局の事務官・技官について

地方防衛局は、防衛省の地方支分部局として、全国の主要都市に所在し、主に事務官(事務職)と技官(技術職)で構成された組織です。

地方防衛局では、防衛政策について地域の皆様の理解を得るための説明や情報提供の実施、防衛施設の建設、自衛隊や在日米軍の運用に伴い発生する障害(騒音など)対策、国有財産の取得・管理など、様々な業務を実施しています。

全国約2,500名の地方防衛局の事務官及び技官は、行政官・エンジニアとして、「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つ」一翼を担っています。

### 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

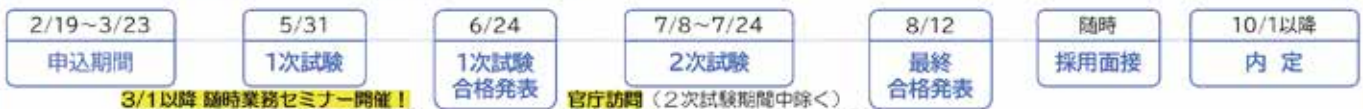
◇行政 ◆デジタル・電気・電子 ◆機械 ◆土木 ◆建築  
◆物理 ◆化学 ◆農学 ◆農業農村工学 ◆林学 ◇教養

### 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験)

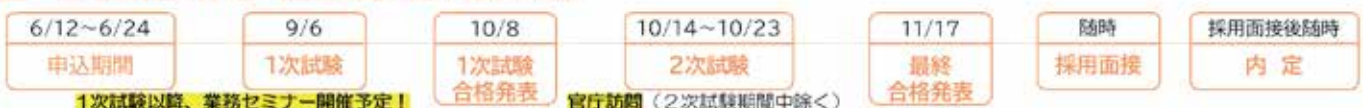
◇事務 ◆技術(電気・情報系、機械系、土木系、建築系)  
◆林業 ◆農業土木

## 令和8年度採用試験スケジュール

### ■ 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)



### ■ 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験)



防衛省  
MINISTRY OF DEFENSE

## 令和8年度自衛官等採用案内

(受付期間10月までのものを抜粋しています)



### 2等陸・海・空士(任期制自衛官)

陸上自衛官として2任期(4年)で退職した場合 給与の総額 <b>約2,038万円</b>
海上自衛官として2任期(5年)で退職した場合 給与の総額 <b>約3,145万円</b>
航空自衛官として2任期(5年)で退職した場合 給与の総額 <b>約2,577万円</b>

特例退職手当 陸上自衛官 約89万円(1任期目2年) 約186万円(2任期目2年)	指定場所 生活調整金 6年間で 最大120万円
海上・航空自衛官 約137万円(1任期目3年) 約191万円(2任期目2年)	休日年間約150日

勤務時間: 08:15~17:00(基準)



バラエティー豊かなバランスの良い食事  
自衛隊病院等での治療・入院は無料  
**衣・食・住・医療全て提供**  
(参考)年間の衣食住に係る費用:約111万円  
(参考)年間の保険医療に係る費用:約6万円

お問い合わせは最寄りの地方協力本部へ!

札幌地方協力本部  
011(631)5472

函館地方協力本部  
0138(53)6241

旭川地方協力本部  
0166(51)6060

帯広地方協力本部  
0155(23)5882



自衛官募集X

種目	採用人員 ※令和7年度	資格	受付期間 (締切日必着)	試験期日	合格発表
一般曹候補生 (第2回)	陸: 約5,000名 海: 約1,800名 空: 約1,900名	18歳以上33歳未満の者 ②2歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者	7月1日~9月1日	1次: 9月16日~9月27日 2次: 10月17日~11月1日 ※いずれか1日を指定されます。	1次: 10月7日 最終: 12月4日
2等陸・海・空士 (任期制自衛官)	陸: 約3,000名 海: 約900名 空: 約900名	18歳以上33歳未満の者 ②2歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者	年間を通じて行っておきます。	受付時又は各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。	試験時にお知らせします。
幹部候補生 (第3回)	一般 陸: 約230名 海: 約125名 空: 約94名	【大卒程度試験】 22歳以上26歳未満の者 ②20歳以上22歳未満の者は大卒(見込)者、専士課程修了者等(見込)は20歳未満の者 【院卒者試験】 20歳以上26歳未満の者 修士課程修了者等(見込)者	9月1日~25日	1次: 10月10日 2次: 11月21日~25日	1次: 11月12日 最終: 令和9年1月26日 海 令和9年1月26日 空 12月25日
	専門 (陸)	約35名			
医科・歯科幹部 (第2回)	陸: 約4名 海: 約0名 空: 約3名	医師・歯科医師の免許取得者	7月30日~10月22日	11月13日	12月17日
幹部候補曹 (第3回)	陸: 約130名 海: 約50名 空: 約60名	20歳以上33歳未満の者	9月1日~25日	1次: 10月10日 2次: 11月21日~25日	1次: 11月12日 最終: 令和9年1月26日 海 令和9年1月26日 空 12月25日
キャリア採用幹部 (第2回)	陸: 約15名 海: 約20名 空: 約50名	大卒以上の者で、応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者	8月3日~10月9日	陸 10月30日 海 11月6日又は11月9日 空 11月9日	12月17日
技術曹 (第2回)	陸: 約60名 海: 約30名 空: 約30名	20歳以上の者で国家免許資格取得者等	8月3日~10月9日	陸 10月29日~30日 海 11月6日又は11月9日 空 11月9日	12月17日
航空学生	海: 約74名 空: 約72名	18歳以上24歳未満の者(高卒者(見込)者)又は高専3年次修了者(見込)者	7月1日~8月28日	1次①: 9月19日 ②: 9月26日 2次: 10月15日~22日 3次③: 11月20日~12月16日 ④: 11月14日~12月17日	1次: 10月9日 2次: 海11月12日 空11月6日 最終: 令和9年1月25日
防衛大校生	推薦 人文・社会科学専攻 約50名 理工学専攻 約105名	18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者 (自衛官(23歳未満)) 高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者 (自衛官(23歳未満))	9月5日~8日	1次: 9月19日 2次: 10月24日~25日	1次: 10月8日 最終: 11月18日
	総合 人文・社会科学及び理工学専攻合わせて約50名	18歳以上21歳未満の者 (自衛官(23歳未満))		1次: 9月19日 2次: 10月24日~25日	1次: 10月8日 最終: 11月18日
	一般 人文・社会科学専攻 約40名 理工学専攻 約75名	高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者 (自衛官(23歳未満))	7月1日~10月15日	1次: 10月31日 2次: 12月16日~18日 ※いずれか1日を指定されます。	1次: 11月18日 最終: 12月25日
防衛医科大学校医科学学生	約85名	18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者	7月1日~10月9日	1次: 10月24日 2次: 12月16日~18日 ※いずれか1日を指定されます。	1次: 12月1日 最終: 令和9年1月29日
防衛医科大学校看護科学学生 (自衛官候補看護学生)	約75名	18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込)者又は高専3年次修了者(見込)者	7月1日~10月2日	1次: 10月17日 2次: 12月5日~6日 ※いずれか1日を指定されます。	1次: 11月12日 最終: 令和9年2月10日
自衛隊奨学生 (第1回)	約20名	大学、大学院、高等専門学校等で理学、工学、文学又は法学を専攻しており、正統の課程を修了する年の4月1日現在で26歳未満の者(大学院在学者は28歳未満)	6月2日~10月9日	11月7日~8日	令和9年2月9日
予備自衛官補 (第2回)	一般 陸: 約1,400名	18歳以上52歳未満の者			
	技能 陸: 約450名 海: 約20名	18歳以上で国家資格免許等を有する者(資格により年齢上限は53歳未満~55歳未満)	9月23日~9月10日	9月12日~10月4日 ※いずれか1日を指定されます。	11月11日

(注) 1. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。  
2. 8年度の採用人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。  
3. 応募資格年齢の起算日は、種目ごと異なっておりますので、それぞれの採用要項又は自衛官募集ホームページ等で確認してください。  
4. その他、詳細については、各採用(募集)要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。